

はじめに

本研究報告は、メディア教育開発センターが平成10年～平成12年の3か年度にわたってうけている文部省科学研究費補助金・国際学術研究「通信制大学院のメディア経営戦略に関する国際比較研究」（課題番号10041098）にもとづく平成10年度のカナダ調査の報告である。

この調査は、わが国で通信制の大学院の設置が認可されたことにともない、諸外国とくに、遠隔教育の点で、また、それに用いるテクノロジーの点で先進国といえる、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアなどにおけるいくつかの機関を対象として、その形態や機能を調査し、わが国の今後の通信制大学院を考える際のインプリケーションを得ることを目的としている。

平成10年度は、カナダ班以外に、アメリカ班、イギリス班が編制され、それぞれ数機関について、どのようなメディアや技術を用いて、どのような学習プログラムを編制し、さらに、それらが経営面、社会的需要面などを含んで、どのような社会的条件のもとに成り立っているのかを、事前の資料収集に加えて、現地を訪問し関係者へのヒアリングを行うことによって、よりクリアなものにすることを目的として調査が行われた。

カナダ班は、佐藤智美（聖徳大学）、平田淳（当時・東京大学大学院、現・トロント大学大学院）と吉田の3人で構成され、アサバスカ大学、ブリティッシュ・コロンビア・テクニカル（Tech BC）大学、サイモンフレイザー大学の3大学に加えて、国家レベルでなされているオンライン教育用のソフトの開発プロジェクトであるテレ・ラーニングの本部（サイモンフレイザー大学内）を訪問し関係者へのヒアリングを行った。

インターネットの普及によって、ホームページから多くの資料が入手でき、電子メールによって頻繁なコミュニケーションが可能な中、実際に見て聞かなければわからないことは多いものだというところを、今更のように実感した調査であった。調査にご協力いただいた各機関とヒアリングに応じて下さった方々に感謝する次第である。

2000年1月

カナダ班1999年度リーダー

吉 田 文